

東京大学先端医療シーズ開発フォーラム開催レポート

平成 25 年 1 月 25 日（金）、東京大学伊藤国際学術研究センターにおいて、「東京大学先端医療シーズ開発フォーラム」を開催いたしました。

東大病院では、先端医療開発研究を目的とした多彩な取り組みが進められています。臨床研究支援センターやトランスレーショナルリサーチ（TR）センターが、このような活動を支える基盤として整備されており、22 世紀医療センター、医工連携部、ティッシュ・エンジニアリング（TE）部、ゲノム医学センターがそれぞれの分野でアクティブに活動しています。これらの組織を東大病院先端医療開発部門として位置づけ、シンポジウムを通じて部局間の連携を深めるとともに、その多彩な取り組みを広くアピールすることを目的として共同でシンポジウムを開催しました。

CMSI 東京大学 GCOE プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション」と「ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム」は、人材育成プログラムの 1 つとしてその活動を支援しています。また、工学部には医療福祉工学開発評価センターが設置され、東大病院と密接に連携しながら医療機器開発を進めています。このような多くの組織が共催としてシンポジウムに参加しました。

シンポジウムでは 19 の口演発表に加えて、さながら「シーズ見本市」のごとく 64 のポスター発表が行われました。ポスターの前では熱い議論が続きました。

シンポジウムには 243 名、シンポジウム後の情報交換会には 48 名が参加されました。本シンポジウムが、医療における科学技術の推進、および医薬品・医療機器・医療技術の研究開発、そしてその成果の社会的な受け皿である医療産業の振興に尽力し、新たな医療システムの構築に向け社会に発信するための第一歩となることを希望しています。



